株式の状況/会社の概要

Stock Information/Corporate Profile

株式の状況(平成29年9月30日現在)

発行済株式の総数	499,550,000株 274,345,675株
株主数	6,179名

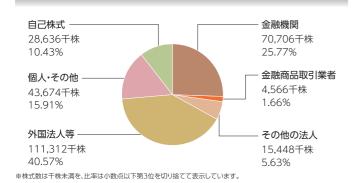
※平成29年10月1日付の株式併合に伴い発行可能株式総数は250,000,000株に、発行済株式の総 数は137,172,837株となりました。

大株主(上位10名)

八怀土 (上位10名)							
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)					
かみぐみ共栄会	13,329	5.42					
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	11,319	4.60					
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,199	4.15					
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	9,874	4.01					
あいおいニッセイ同和損害保険㈱	6,737	2.74					
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	6,454	2.62					
上組社員持株会	6,059	2.46					
全国共済農業協同組合連合会	5,544	2.25					
(一財)村尾育英会	4,912	1.99					
日本生命保険制	4,543	1.84					

- ※1 自己株式28,636千株は、上記大株主から除いています。
- ※2 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
- ※3 持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況(平成29年9月30日現在)



会社の概況(平成29年9月30日現在)

商号	株式会社 上組(Kamigumi Co.,Ltd.)					
創業	慶応3年(設立:昭和22年2月28日)					
資本金	31,6	542,2	66,01	1円		
従業員	3,768名(連結:4,170名)					
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号					
主要な 事業内容	国内物流事業			港湾運送事業、倉庫業、貨物自動車運送事業、 倉庫工場荷役請負業等		
	国際物流事業			国際運送取扱業		
	そ	の	他	重量貨物運搬据付業、不動産賃貸業、 物品販売業、酒類製造販売業等		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで					
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 中間 9月30日 期末 3月31日					
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社					
同連絡先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777					
公告方法	電子公告 当社ホームページ(https://www.kamigumi.co.jp/)に 掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告によること ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。					
単元株式数	100株※ ※平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。					
(ご注意)						

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開 設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設 されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託 銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託 銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱 UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にても お取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式併合および単元株式数の変更について

当社は、平成29年10月1日をもって普通株式2株を1株とする株式併合および、単 元株式数を1,000株から100株とする変更を行いました(平成29年6月29日開催 の第78回定時株主総会決議)。株主の皆様には変更後の株式数を記載した「株式併 合手続き完了のお知らせ」を同年10月23日に発送させていただいております。な お、株式併合の結果、1株未満の端数株式が生じました株主の皆様には、これを一括 処分し、その処分代金については、中間配当金と同時にお支払い申しあげます。

役員(平成29年9月30日現在)

●取締役			●監査役		
代表取締役会長	久保	昌三	常任監査役(常勤)	小前	正英
代表取締役社長	深井	義博	監査役(常勤)	板倉	哲夫
代表取締役専務	牧田	秀男	監査役(社外)	宗吉	勝正
代表取締役専務	佐伯	邦治	監査役(社外)	中尾	15
取締役	田原	典人	監査役(社外)	黒田	愛
取締役	堀内	敏弘			
取締役	市原	陽一郎			
取締役	村上	克己			
取締役	小林	保男			
取締役(社外)	玉造	敏夫			
取締役(社外)	馬場	耕一			











港湾ターミナルネットワークを強化し、 今後も「上組デザイン物流」を推進します。

株主の皆様には、格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、当社第79期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年 9月30日まで)の事業の状況をご報告申しあげます。

物流業界は、輸出入貨物ともに堅調な荷動きではあるものの、受注競争の激 化により、経営環境は依然として厳しい状態が継続しました。

このような状況下で当社グループは、従来推進している「上組デザイン物流」 の強化・推進のため、港湾ターミナルネットワークの充実化を図っており、その 一環として期中にはカンボジアのターミナル運営に参画いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益、営業利益、経常利益 は前年同期を上回り、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な増益を達成 することができました。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い 申しあげます。

代表取締役社長深井義博

営業収益 129,704百万円 7.0%增 / 前年同期比 第2四半期累計 運期 200,000 121,202 121,441 121,198 129,704 100,000 50,000





株式会社上組

部門別概況 Segment Review





■コンテナや穀物、輸入青果物の取扱い が増加



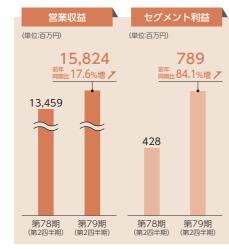


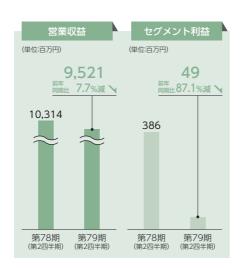
■プロジェクト輸送貨物や航空貨物の取扱いが増加



■重量貨物の運搬据付業務や建設機工 業務、酒類製造販売業の取扱いが減少







※上記の営業収益およびセグメント利益の数値は、セグメント間の取引消去前の数値を記載しています。

Topics

インドネシアの自社倉庫を増強

当社現地法人である上組ロジスティクスインドネシア社は、平成27年12月にインドネシアのグリーンランド工業団地において倉庫を竣工し、倉庫保管を中心とした物流サービスを行っておりますが、営業開始以来貨物の取扱いが順調に推移し、ほぼ満床状態となっていることから、今後の更なる顧客ニーズに迅速に対応するため、第2期倉庫を増設する運びとなりました。

現地フォワーディング会社である上組インドネシア 社と協業を図り、輸出入貨物や内需貨物を取り込むこ とで、自社倉庫を活用した一貫輸送体制をより強固な ものにしてまいります。



▲ 新倉庫完成予想図

【上組ロジスティクスインドネシア社・第2期倉庫の概要】

●竣工予定年月=平成30年12月 ●倉庫概要=鉄骨造、2階建、延床面積22,046㎡

特集

~創業150年のあゆみを振り返る~ プレイバック! KAMIGUMI



上組の創業は1867(慶応3)年に遡ります。

このコーナーでは当社の150年の歴史から印象的な出来事をハイライト形式にてご紹介します。

1962年 重量物輸送のノウハウを実践! 上組旧本社ビルの引越し

1962(昭和37)年、敷地が都市計画の道路建設予定地にかかることから、当社(当時:上組合資会社)旧本社ビル(建坪450㎡、重さ5,000t)の引越しが実施されました。ビル内の従業員は執務したまま、ビルごと26m移動するという大プロジェクトです。まず、ビルの周囲を掘り、井桁(いげた)に組んだコンクリートや木材の角柱のゲタをはかせたビルを、鉄棒のコロを噛ませながらレール上を滑らせました。動いているようには見えないスピードで、一日に2mほど移動したそうです。移動工事中も電線、電話線、水道管、下水管などを継ぎ足していくため、業務に全く支障はありませんでした。重量物輸送を得意とする当社らしいエピソードです。



▶引越し作業中の旧本社ビル 土台下まで掘り起こしているため、従業員は橋を渡って玄関から出入りしました。

1997年 顧客ニーズに対応! ユニットキャリア・モデルII開発



当社重量機工建設本部(現:重量エネルギー輸送事業本部)では1997(平成9)年、ますます大型化するプラント機器輸送のニーズに対応するため、車両メーカーと共同で重量物運搬用車両「ユニットキャリア」の新型モデルを開発しました。従来のモデルでは運転席・エンジン付き6軸台車+動力なし6軸台車の最大12軸編成だったところを、新モデルでは運転席とエンジンをそれぞれ一つのユニットとして独立させることで、3軸・4軸・6軸の各台車と自由に編成を組めるようになりました。従来のモデルと組み合わせ積載能力の大幅な向上を果たし、その年の11月に予定されていた3,820tの発電所ボイラー運搬を安全に遂行しました。

▲ユニットキャリア・モデルⅡ

99年 被災企業として! トルコ大地震の被災地支援活動を実施

1999 (平成11) 年に発生したトルコ大地震の被災者を救援するため、日本政府が仮設住宅の無償提供を計画した際、当社はこの輸送プロジェクトの支援を行いました。これは国際協力事業団(現:国際協力機構=JICA)の要請を受けたもので、阪神・淡路大震災での被災経験を持つ当社としては、復興支援や社会貢献の一助となるべく積極的にこのプロジェクトに協力しました。追加作業や台風の影響など極めて悪条件のなか、神戸港にて出港前日の深夜まで海上自衛隊の自衛艦へ約500世帯分の船積み作業を実施しました。本活動が無事完了した後には、その安全かつ敏速な作業の遂行に対し、海上自衛隊より感謝状が贈呈されました。



▶コンテナで自衛艦に船積みされる仮設住宅

2012年 こんなところにも上組! 豊橋地区での輸入新車整備事業



港湾運送のパイオニアとしてコンテナや青果物取扱いのイメージが強い当社ですが、現在、愛知県・豊橋地区では輸入完成車の荷役から保管、新車整備から全国配送までを包括的にオペレーションしています。荷役した輸入完成車が搬入される新車整備センターでのロードテスト(走行時の各種機能の点検)、完成検査(日本の法規で定められた項目の点検・完成検査証の発行)、輸送用の保護フィルム貼付の工程を経て、全国の販売店へタイムリーに配送しています。進捗状況をリアルタイムでデータ管理することで搬入から配送まで無駄なく行うことができ、影ながら豊橋地区の輸入車取扱い量増加に寄与すべく努力してまいります。

▲豊橋第二新車整備センター外観